

学校だより

東泉丘

令和4年(2022年)10月号
全児童数 590人(9/22現在)
豊中市立 東泉丘 小学校
校長 河上 洋介



夏季休業中教職員研修のようす

少し時間が経ちましたが、夏季休業中に実施した校内教職員研修の様子についてお知らせします。本校には、3つの研究部会があり、目指す学校像、目指す子ども像の実現に向けて校内研究を進めています。夏季休業中には、それぞれ1回ずつ、講師を招いて研修会を実施しました。

まず、7月26日(火)には、大阪医科薬科大学の吉田誠司先生を講師として「場面緘黙の児童との関わり方について」をテーマにした研修を行いました。場面緘黙の子は、不安感が強く「話さない」のではなく「話せない」のだということや、進学といった環境の変化があった時等、本人に「話したい」「変わりたい」と思うタイミングが訪れた時のために、日ごろから自己効力感や自己肯定感、安心感を育むことが大切だと教えてもらいました。自己効力感は「きっと何とかなる」「やってみよう」と思える感覚で、自己肯定感は「きっと自分は大丈夫」と思える感覚とのこと。具体的には、例えば、話さなくてもできる係活動がんばることで、クラスの一員として、みんなの役に立っていると感じられる経験を積むことが大切とのことでした。

次に、8月24日(水)の午前には、豊中市教育センターの北村崇子指導主事を招き、教育の情報化について学びました。1人1台タブレットが導入された経緯や、タブレットの活用事例について学びました。タブレットで動画を見たり写真を撮ったりする等、タブレットの操作に慣れてきたら、次のステップとしてタブレットを使って自分の考えや意見を発信する活動に挑戦してほしいとのことでした。研修の途中で、タブレットの活用方法を考える場面がありました。先生たちからは、体育で自分のフォームを動画で撮影して確認したり、校外学習で学んだことを「発表ノート」という機能を使ってまとめたり、作文を推敲したりできそうだ、等の意見が出されていました。講師の先生から、教育の情報化が進んでいるとはいえ、実体験が大切であることは変わらない、といった話もありました。

最後に、8月24日(水)の午後に奈良学園大学の西江なお子先生を講師として「子どもたちが主体的に学びあえる授業づくり」について学びました。講師の先生が4年前に池田市の小学校で実践した、家庭科を軸に据えた教科横断的な「いのちの教育」を紹介していただきました。その小学校では、子どもたちの自己肯定感を高めたいと考えていました。また、その小学校のある地域には野良猫が多いという課題がありました。そこで、西江先生は、犬や猫の殺処分を題材にした授業を考えました。導入では、アメリカのニュージャージー州に住む12歳のダリアス ブラウンさんが、殺処分される犬や猫の里親を増やすために、犬や猫がかわいく見える蝶ネクタイを手作りして寄付したことを紹介し、自分たちにも地域の野

良猫のためにできることはないかと課題を提示しました。そこから、子どもたちの発案によって、手作りのシュシュを広島県で殺処分ゼロの実現に尽力した NPO 法人に送る活動に始まり、地域での募金活動、ポスターの掲出や啓発活動、映画「犬に名前をつける日」の上映とその映画の監督、広島の NPO 法人の代表の方による講演会の開催と、子どもたちの活動がどんどん広がっていった様子を紹介していただきました。この学習を通して、子どもたちは、自分が誰かを幸せにすることができることを感じる事ができたとのことでした。西江先生のお話から、子どもたちの主体的な学びのためには、授業の最初が肝心、最初の課題提示が大切である、ということ学びました。

また、始業式のあった8月25日(木)の午後には、第十七中学校の夏期校内研修があり、小学校の教職員も数名オンラインで参加しました。「自閉症スペクトラムの理解と合理的配慮」について、箕面支援学校の高橋元先生、豊中支援学校の恒川仁美先生がお話をしてくださいました。研修で学んだことを、2学期以降の教育活動に生かしていきたいと思えます。

<連絡やお願い>



・10月8日(土)に予定されている運動会では、入退場門にもご注目ください。4年前まで使用していた入退場門が古くなっていたため、公民分館に材料費を出していただいて、当時の教職員が新しく作り直しました。デザインも本校の教職員が考えています。新型コロナウイルスの流行の影響等により倉庫にしまったままになっていたため、今年度の運動会で初披露です。

・アルファベットのキーの場所を覚えたり、ローマ字入力の練習をしたりすることによって、コンピュータを使った学習による基礎学力や情報活用能力を高めることを目的として「東泉丘タイピング大会」を行います。4～6年生の各クラスの代表2名を選び、12月に決勝戦をする予定です。株式会社 Preferred Networks が作成したプレイグラムタイピングというサービスを使って行います。



・子ども達が使っている一人一台タブレットについて、学校で一括してスクリーンタイムの設定を行いました。このことにより、22時から翌7時までタブレットの機能が使えなくなっています。連絡掲示板の確認は、当日22時まで、または翌7時以降にお願いします。例外として次のアプリはいつでも使えます。Word、Excel、PowerPoint、iMovie、Teams、Webex Meet、NHK for school の7つです。

本校の目指す学校像「ひとりひとりが輝く楽しい学校」

目指す子ども像「伝え合い 認め合い 高め合い 3つの合い(愛)」